

令和 7 年 度 事 業 計 画

§ 1 令和 7 年度の事業運営に関する基本的な考え方

令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震の影響で、令和 6 年 1 月、さらに令和 6 年第一四半期（1 月～3 月）の市内観光施設の入込等が、令和 5 年 1 月及び同四半期と比較して大きく減少した。

こうした厳しいスタートではあったが、令和 6 年 3 月 16 日の北陸新幹線敦賀延伸や、10 月から 12 月の北陸 DC（デスティネーションキャンペーン）の効果等によって、令和 6 年下半期における市内観光施設への入込数は、概ね回復の傾向にある。

また、新高岡駅における人の動きは、令和 6 年は令和 5 年に比べて全体として増加傾向にある。中でも北陸 DC の期間中の増加傾向が大きいことから、その効果が確認できる。

このような基調の中で、令和 7 年度は、新幹線の敦賀延伸や北陸 DC の効果が確実に引き継がれていくよう、これまで進めてきた観光プロモーション活動を確実に継続していく。特に、令和 6 年度にリニューアルした観光ポータルサイト「高岡観光ナビ」を主体として、多様なメディアでの情報発信を行っていく。また、出向宣伝や旅行会社への訪問などのプロモーション活動を展開していく。

さらに、これらのプロモーション活動を契機として、より具体的に「高岡への来訪」を呼び込むための助成制度等の運用を図っていく。個人を対象としたものでは、来訪を呼び込む宿泊クーポンの運用や、食に関する割引提供制度を運用する。旅行会社等に対しては団体ツアー商品化に対する助成等を行っていく。

インバウンドに関しては、新高岡駅観光交流センター及び高岡駅観光案内所での外国人対応の件数が、いずれも令和 6 年は令和 5 年に対して 6 割以上増加しており、外国人来訪者の増加が明らかな状況にある。台湾及び中国をはじめとするアジア圏からの来訪が多いことはもちろんであるが、欧米・オセアニアからの来訪者への対応件数も、令和 6 年は令和 5 年に対して約 2 倍に増加している。2025 年 1 月には、ニューヨークタイムズの記事により富山への注目が集まることになったことも、今後の外国人来訪者の増加につながるものと考えられる。

こうしたことから、これまでに引き続いて、台湾からの誘客を主体としながら、令和 6 年度に商品化したインバウンド向け高付加価値体験型商品のプロモーションでは、欧米圏も対象に含めた推進を検討していくなど、一層の外国からの観光誘客を図っていく。

§ 2 各事業の実施計画

I 公益目的事業

1 観光プロモーション事業

高岡市の観光に関する情報を多面的に発信することで誘客促進を図る。

特に、令和 6 年度にリニューアルした観光ポータルサイトは情報発信の主体として充実を図っ

ていく。また、映像、旅行雑誌等の多様なメディアでの情報発信に努めていく。

また、出向宣伝の実施や旅行会社を訪問しての観光素材紹介による商品化の働きかけなどのプロモーション活動を実施していく。実施に際しては関係機関との連携により効果的な実施を図る。

(1) 旅行会社へのセールスプロモーション

首都圏、近畿圏及び中京圏など、大都市圏を中心とした旅行会社を訪問し、高岡市の観光素材に関する情報をPRし、これらの素材を入れ込んだ旅行商品、ツアー造成の促進を図る。

また、旅行会社のツアー造成担当者を高岡市に招いて、食やものづくり等を体験する機会を設けて、高岡市の魅力を実体験してもらうことで、旅行商品化を促進する。

(2) 出向宣伝による観光プロモーション

北陸新幹線の沿線や三大都市圏での出向宣伝を行い、高岡市の知名度アップを図り、観光地としての魅力を発信する。実施にあたっては、観光協会が主体となって実施するもののほか、関係機関との連携を図ることで、より多くの出向宣伝の機会を設けるように努める。

(3) 観光情報の発信

令和6年度にリニューアルした高岡市観光ポータルサイト「高岡観光ナビ」による情報発信に加えて、旅行雑誌、映像メディア等による観光情報の発信に努めていく。

① 観光ポータルサイトによる情報発信【新規・拡充】

情報発信の主体として、観光ポータルサイト「高岡観光ナビ」を活用して、情報を適切に管理更新し、適時な観光情報を発信していく。特に、令和6年度のリニューアルに伴って新たな取り組みとしてスタートした「地元ライター」による情報発信は、市民の視点によるテーマ性やストーリー性をもった魅力あるものとして、重点的に進めていく。

また、Facebook、X、InstagramなどのSNSを、「高岡観光ナビ」と連携させながら、情報発信ツールとして活用していく。

このほか、飲食店情報については、後述の「ランチ割引による誘客促進事業」及び「食事クーポン『高岡彩食』」事業とも関連することから、高岡の地域情報サイト「まいぷれ高岡」ともリンクさせながら、発信していく。

② 多様なメディアの活用

旅行雑誌や新聞広告、映像メディアなどの多様なメディアによる観光情報の発信に努めていく。

また、旅行雑誌の出版関係者等を高岡市に招聘する事業を通じて、記事への取り上げを促進していく。

③ 観光PR動画の制作【新規】

高岡市の観光に関する動画を制作する。動画は、原則自由利用とし、多様な関係者に情報発信に活用されることで、幅広く高岡市の観光PR、情報発信になることを目指すものとする。

(4) 高岡フィルムコミッション事業

映画やテレビ番組等への高岡市の映像露出を促進し、観光に資するものとなるよう、市内での映画撮影等における関係者への手続き等に関するサービスを可能な範囲で提供していく。実施に当たっては、県の事業である富山県ロケーションオフィスと連携していく。

(5) その他観光プロモーション関係事業（観光大使事業）

高岡市の観光PRに協力していただく「観光大使」を委嘱し、派遣等に係る連絡調整などの事務を取り行う。なお、従前から委嘱期間は2年間としており、令和7年度には新たな委嘱を進める。

2 誘客促進事業

各種の助成制度の設置運用を通じて、直接的な高岡市への誘客を促進していく。

現在、個人旅行に関しては、オンラインでの旅行予約が一般化し活用されていることから、オンライン旅行予約サイトで運用されるクーポンを活用した市内宿泊への助成制度を実施する。また「食」を通じた誘客として、ランチタイムのメニュー利用に対する助成制度を運用していく。

旅行事業者に対しては、新高岡駅の利用の促進や市内滞在による消費拡大等が見込まれるツアー造成等に対する助成制度を引き続き運用し、誘客を促進していく。

このほか、市内でのコンベンション開催等に対する助成制度等、多方面からの誘客を図っていく。

(1) 宿泊クーポンを活用した誘客促進事業

宿泊旅行客の増加を図るため、前年度に引き続き、オンライン旅行予約サイトを通じて宿泊割引クーポンを配布するキャンペーンを実施する。オンライン旅行予約サイトは、利用者が多く、また、旅行事業以外の販売事業や、ふるさと納税事業なども併せて実施し幅広い顧客情報を有する「楽天グループ」の「楽天トラベル」によるものとする。実施時期は、観光シーズンであり、また「食」の魅力が高まる時期である冬を予定する。

(2) ランチ割引による観光推進事業【新規】

ランチ割引による観光推進事業を令和6年度（12月事業補正）からの繰越継続事業として実施する。

市内で販売、提供される高価格帯ランチメニューの利用に対する支援を行うことで昼間の観光客の増加対策を図り、また、市内滞在の増加策とする。

ランチメニュー助成 3,500円以上／食 支援額 500円

6,000円以上／食 支援額 1,000円

(3) 団体旅行の誘致促進

県外からのツアーを企画し、催行した旅行会社に助成することで、市内観光客の増加を図る。

○対象ツアーの条件 10名以上のツアー／新高岡駅利用／市内の飲食又は土産物施設利用

(4) 旅行事業者による着地型旅行商品造成の促進

富山県、石川県、福井県、岐阜県飛騨地域内に事業所を有する旅行事業者が企画、催行する募集型の旅行商品で、次の条件を満たすものについて、実施に必要な経費（印刷費用や広告費等）の一部を助成することで、着地型旅行商品の開発促進を図る。

○対象旅行商品 原則として新規企画／高岡の歴史又は伝統産業関連／市内飲食、土産物その他の有料施設の利用

(5) コンベンション誘致及び支援による誘客

富山コンベンションビューロー等と連携して、コンベンションの誘致を進める。また、コンベ

ンションの主催者に対しては、コンベンション開催に対する助成を行う。

○補助対象メニュー 宿泊補助／会場使用料補助／シャトルバス運行補助

また、コンベンションの参加者が市内の観光施設を利用する際の助成を講じる。

(6) その他の各方面からの観光誘客

修学旅行等の教育旅行について、富山県、とやま観光推進機構等による商談会等を通じて誘致を図る。

また、富山伏木港へのクルーズ船の入港にあたっては、関係団体と協力して、観光客の受け入れについて対応を図る。

(7) 旅行商品による誘客促進 〈収益目的事業に記載〉

3 外国人観光客の誘致促進事業

高岡駅観光案内所及び新高岡駅観光交流センターでの外国人対応件数の状況から、高岡市への外国人来訪者の増加が認められる。

こうした中で、引き続き岐阜県郡上市との連携による誘致協議会のほか、各種の団体と連携してインバウンドの誘致を推進していく。また、前年度に商品開発を進めた高付加価値のものづくり体験の旅行商品をインバウンド向けとして重点的にプロモーションを進めていく。

(1) 外国人観光客の誘客事業

① 高岡・郡上外国人観光客誘致協議会

岐阜県郡上市とで設置している外国人観光客誘致協議会で、台湾での旅行会社に対するセールス事業を実施する。

② その他各種関係団体との連携

富山県、とやま観光推進機構、富山県西部地区観光協議会、とやま観光発信会等の関係団体が実施する外国人誘客に関する事業への支援、協力を行い、また、連携して外国人観光客の誘客を推進する。

(2) インバウンド向け旅行商品のプロモーション【新規・拡充】

令和6年度に、インバウンド向けを想定して商品化の取り組みを進めた「高岡雅美（みやび）プレミアム」は、高付加価値のものづくり体験の旅行商品として、開発したものである。この販売の拡充を図るためのプロモーションを推進していく。

(3) 団体旅行誘致促進事業補助金による台湾からの観光誘致

団体旅行誘致促進事業補助金を活用して、台湾からの団体ツアーの実施に対する助成を行うことで、台湾からの誘客促進と、観光客の滞在時間、観光消費の拡大を図る。

4 観光に係る基盤事業の管理運営

(1) 新高岡駅観光交流センター運営事業（指定管理）

指定管理者として新高岡駅観光交流センターの管理運営を行う。観光情報及び地域情報の提供並びに工芸品等の展示及び販売事業のほか、令和6年度に実施したリニューアルに伴って新たに受託することとなった路線バスのチケット発券業務等を確実に実施し、高岡市の玄関口としての施設運営に努めていく。

(2) 観光案内所運営事業（高岡駅・雨晴駅）

高岡駅観光案内所及び雨晴駅観光案内所の運営を行う。

(3) 観光ボランティアガイドに関する事業

観光ボランティアグループによる観光案内の実施に関し、各グループとの連絡調整を行うほか、養成講座の開催等を通じてボランティアの育成を図る。

(4) 観光関係団体研修事業

観光事業者研修会や高岡観光案内人研修など、観光にかかわる人材、団体の研修事業を実施する。

(5) 観光関連施設管理

観光関係施設の管理を行う。

（二上山平和の鐘・平和観音像、電気自動車充電設備 4 か所）

5 観光イベントに関する事業

(1) 桜まつり事業

高岡古城公園内に大小のぼんぼりを設置する。（期間 4月1日から4月13日）

(2) 各観光イベントに対する支援協力

高岡市の主な祭り、イベントに対するPRを行い、また、運営への協力を行う。

瑞龍寺ライトアップ／高岡御車山祭／伏木曳山祭／戸出七夕まつり／高岡七夕まつり／高岡万葉まつり／中田かかし祭／福岡町つくりもんまつり／日本海高岡なべまつり 等

(3) イベント関連旅行商品の販売

高岡御車山祭勢揃式観覧席の販売／高岡万葉まつりにおける万葉故地ツアーの販売

II 収益目的事業 〈一部の内容は公益目的事業の内容と重複〉

1 観光関連施設の管理事業（収益的なもの）

新高岡駅観光交流センターにおける観光客の利便施設等の運用による収益事業

コインロッカー管理／受託によるバスチケット発券／貸会議室 等

2 旅行商品の開発販売

(1) 旅行商品の販売

旅行業法に基づく旅行商品の販売を行う。販売にあたっては、新高岡光交流センター、高岡駅観光案内所のほか、市内関係施設の協力を得て進める。また、旅行予約サイトを通じた販売についても、効果検証もしながら引き続き実施していく。

高岡市内観光施設共通クーポン

高岡まちなか1日フリーきっぷ／高岡ワイド1日フリーきっぷ

高岡雅美／すずかみ作り体験

高岡彩食（さいじき）

勝興寺ならではプラン

- 万葉故地めぐりバス
- 高岡御車山観覧席販売
- (2) 新たな旅行商品の企画検討

3 物産販売事業

- 新高岡駅での工芸品の展示販売事業（MONONO-FU）・自動販売機・カプセルトイ 等
- 観光絵葉書及び名刺台紙の販売

Ⅲ 法人会計事業

公益社団法人としての必要な機関の運営等を確実に行之、業務を執行していく。

- (1) 社員(会員) 及び社員総会に関すること
- (2) 理事及び監事並びに理事会に関すること
- (3) 事務局による業務の執行管理と運営